

## 善福寺川周辺の樹木と野草

～～樹木シリーズ～～

林 静 (S45 経)

善福寺川は、善福寺池に源を發し、中野富士見町あたりで神田川に合流する、全長 10.5 kmの 1 級河川です。荻窪辺りからの下流は公園になっており、驚くほど沢山の樹木や野草そして水辺の動物などを見ることができます。ここでは、この界限で、ごく身近に見かける樹や野の花を皆さんにシリーズで紹介したいと思います。

第 1 回は「こんな樹の花があるんだ」をご紹介します。

善福寺川緑地公園の様々な樹の中で、私が好きな樹は「ユリノキ (百合の木)」です。葉の形がハンテンに似ているのでハンテンボクともいわれています。その落ち着いた大木の雄姿はどこか安心感と安らぎをもたらしてくれます。そんなユリノキの花です (写真 1)。5 月に咲きます。アメリカでは、その花の形からチューリップツリーと呼ばれているそうです。

そして 6 月に、時には 20cm を超える大きな花を次から次へと咲かせる樹は、「タイサンボク (泰山木)」です (写真 2)。とても強い香りを撒き散らしながら堂々と咲いています。でもきれいなのはたった一日。すぐに茶色くなってしまいます。

5 月の初めに、善福寺川の近所の民家に咲いていたのは「オオヤマレンゲ (大山蓮華)」の花です (写真 3)。とても気品のある綺麗な花です。

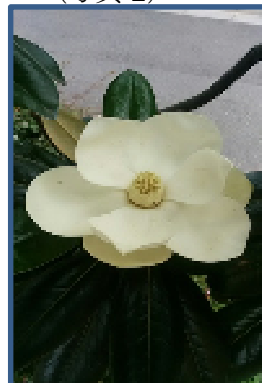
3 月お彼岸の頃、青空を背景に真っ白に咲き春を告げるのは「ハクモクレン (白木蓮)」の花です (写真 4)。親戚筋のコブシもこの頃花を咲かせます。気ままに歩こう会の鈴木世話人から、「つぼみの先端が向いている方向が北です。」と、教えていただきました。

これらは皆「もくれん科」の樹で、とても華やかさを持った花たちです。来年、3 月から 6 月にかけて、きっと皆さんの目を楽しませてくれることでしょう。

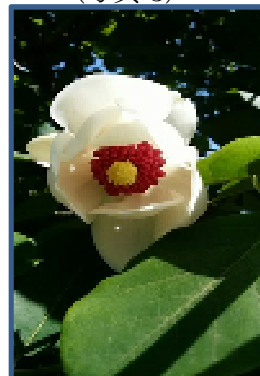
(写真 1)



(写真 2)



(写真 3)



(写真 4)

